



バングラデシュ

【スタートアップビジネス】コンペティション・リスト2

調査日と場所: 2016年5月[ダッカ] 為替レート: BDT 0.71 = JPY 1 [出典: バングラデシュ銀行(2016年6月1日)]

バングラデシュのスタートアップ・エコシステムの概要

ダッカのスタートアップ・エコシステムは2013年頃より、ビジネス・インキュベーションサービスの開始、国内外のベンチャーキャピタル企業との協業、ブートキャンプ(トレーニング)の開催、スタートアップ関連のイベントの開催により本格的に構築され始めている。政策上の支援や関係機関との協業、包括的なインフラ、経験、それぞれの面においてまだ不足しているところはある。また、投資家とスタートアップ企業の間には投資に対する理解および評価の面で大きな隔たりが存在することも指摘されている。まだ未熟な市場であるが、官民双方の支援により急速に成長している。

2015年6月、バングラデシュ証券取引委員会(BSEC)は、「2015年のバングラデシュ証券取引委員会規則」というプライベート・エクイティ(未公開株)およびベンチャーキャピタル企業向けの新しい規則を発表した。この規則は、エクイティファイナンス向けの資金をどのように創出し、管理すべきかについての手引きである。スタートアップの動きを支援する企業は、海外の機関と協力しながら、スタートアップ企業と投資家のプラットフォームを構築し、ロードマップの作成を通じた投資家の支援、専任かつ適任のメンターシップ制度を通じたスタートアップ企業の支援に取り組んでいる。

SeedStars Dhaka

初のスイススペースの スタートアップ・コンペティション

- 期間: 2015年11月(初回)
- 主催: BASIS、Seedstars World
- 実施機関: BetterStories Ltd.、PreneurLab
- パートナー: International Trade Center of United Nation、
Fenix Venture Capital、BD Venture Ltd.
- 場所: Newscred office(ダッカ)



主催者のプロフィール

BetterStories Ltd. BetterStories Ltd.は、2009年に収益型ソーシャルエンタープライズ企業として設立された、非公開の有限会社である。同社は、メディア・コミュニケーション、ICT・調査、ビジネス・インキュベーションの3つのユニットを組成し、ビジネス・開発コンサルテーションに特化している。同社は、率先して社会起業家の育成に携わり、自社でいくつかの育成・促進プログラムを主催している。また、Seedstars DhakaやFounder Instituteなどの国内外の組織と共に、世界的なプログラムをバングラデシュ国内で開催している。さらに、スタートアップと投資家を結びつけるBizCafeと呼ばれるプラットフォームを開発し、バングラデシュのスタートアップ・エコシステムの開発に取り組んでいる。



PreneurLab



Preneur Labは、2013年に創設されたコミュニティと技術力に注力するイノベーション・ラボである。イノベティブな製品をつくり、新たなソリューションを提供することで、地域社会の役に立ち、人々の生活に影響を与えることをビジョンとして掲げている。コミュニティを作り、メンバーにサービスを提供することからスタートアップ・コミュニティの起業家支援まで、Preneur Labは、スローガンとして掲げる「Tech For Social Good(社会的利益のための技術)」に従い活動を行っている。またバングラデシュのGoogle Developer GroupやFacebook Developer Groupとも共同している。

コンペティションの概要

□ コンペティションの歴史

SeedStars World は、シードステージのスタートアップのコンペティションであり、世界複数カ国で開催されている。

バングラデシュでは、2015年に初めて開催された。まず、現地の上位30のスタートアップ企業を対象に、ビジネスモデルとピッチのスキルを磨くための2日間のブートキャンプ・プログラムが行われた。「スタートアップ・クリニック」と呼ばれるブースが設置され、各ブースには、エンジニア、業界の専門家、会計士、弁護士などが待機し、スタートアップ企業が各自のニーズに基づき、専門家に相談。また、女性起業家をテーマにしたパネルディスカッションでは、成功している2人の外国人の女性起業家がスピーチを行い、バングラデシュの女性起業家を激励した。

ブートキャンプ・プログラムに参加した30の中から上位12のスタートアップ企業が選出され、現地および国際的な審査員の前でピッチを行った。この結果、SeedStars Dhakaからは、1つのスタートアップが選出され、スイスで開催された第3回世界コンペティション(2016年3月3日開催)に招待され、SeedStars World Global Winnerの称号を争い、世界中の他の53のスタートアップ企業と対戦した。

SeedStarsは毎年開催される予定である。また、過去の参加者との強いつながりを維持しており、参加者が一年中、いろいろな活動に従事できるようにしている。

□ 参加者

基本的な基準は、設立2年未満で、資本金が500万ドル未満のシードステージの会社である。スタートアップのカテゴリーは、Fintech、Traveltech、Startechである。また、地域の問題解決に資することおよび／または、グローバルな市場で収益性の高い製品を開発することを目指すスタートアップにも焦点を当てている。

□ 賞品

SeedStars Dhakaから、スイスで開催されるSeedStars Worldに参加できるのは1社のみである。SeedStars World Global Winnerには、APスイス(SeedStars Worldのプレミアム・パートナー)より、5万ドルの助成金が渡される。

□ 選抜の基準

SeedStars Dhakaには、200のスタートアップ企業からの応募が寄せられた。その中から上位30が選出され、ブートキャンプ・プログラムに参加。さらに30の中から上位12のスタートアップ企業がピッチ・コンテストに選ばれた。スタートアップ企業は、ビジネスのスケールアップ、市場での実現可能性、ビジョンに基づいて選抜された。



最終ピッチ・セッションの様子

現地審査員と国際審査員の前で12のスタートアップ企業がピッチを実施。

□ 上位3の勝者

	企業名	分野	概要
1位	Madviser	モバイル アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーの携帯電話の使用状況から最適のパッケージを推奨する Humac Labによって開発されたモバイルアプリケーション。 アプリケーションに自身の携帯電話番号を入力すると、直近1週間のユーザの携帯電話の使用状況が分析される。現在使用中のパッケージを他の利用可能なパッケージと比較し、どれだけ節約できるかを示すアプリケーション。
2位	Handy Mama	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な道具やスキルを必要とする家周りの作業を依頼することができるウェブおよびモバイルベースのプラットフォーム。 主な内容は、清掃、電気、電子、配管、大工、塗装、家庭電化製品（エアコン、冷蔵庫、オープン、テレビなど）の修理。ユーザはHandy Mamaに電話をかけ、依頼事項を説明。その後、認定技術者と作業者が派遣される。支払方法は現在、現金のみで作業が終わり次第、支払われている。またこのサービスは現在ダッカに限定されている。 Founder Institute Bangladeshの最初のバッチを卒業し、Fenoxから15,000ドルの投資を獲得。
3位	Track My Vehicle	輸送	<ul style="list-style-type: none"> 自動車盗難を解決し、車両の安全を確保するためのモバイルおよびWebサービス。 ドライバーのスキルの傾向を分析・予測する他、リモートでのエンジン停止、ライブ追跡、ライブ燃料計、法定書類の締切日のアラート、ハイスクールでの自動車ERP統合、マイレージレポート、トレンドサービスを提供する。

Founder Institute Bangladesh

シリコンバレーベースの 起業家トレーニングとスタートアッププログラム

- 期間：2015年2月（初回プログラム）
- 主催：Founder Institute、BetterStories Ltd.（現地側）
- パートナー：BASIS、Fenox Venture Capital
- 場所：BASISカンファレンスホール
（Pitch Night for Founder Institute Graduate）（ダッカ）



コンペティションの概要

□ コンペティションの歴史

Founder Instituteは、世界最大級の起業家トレーニングおよびスタートアップ立ち上げプログラムの1つである。3ヶ月間のパートタイム（夜間）プログラムは、実践を通じた学習および設計されたトレーニングコース、実践的なビジネスアサインメント、専門家からのフィードバックを通じた会社の立ち上げに重点が置かれている。起業家は毎週Founder Instituteのメンターが主導するトレーニングとフィードバックセッションに参加する。このプログラムの特徴は、業務時間終了後に開催されるため、起業家がプログラムに参加するために現在の仕事を辞める必要がない点である。世界の100以上の都市と60カ国以上で稼働しており、7年間の活動を通して2,000社以上の企業の立ち上げを支援してきた。

バングラデシュでは、2015年2月に現地パートナーであるBetterStories Ltd.と共に最初のプログラムが開催され、2016年3月には、2回目のバッチも実施された。初回のバッチでは、3ヶ月間のトレーニングの閉会式、「Pitch Night for Founder Institute Graduate」にて、選ばれた5件（注）が自身のスタートアップのピッチを審査員や投資家の前で行うチャンスを得ることができた。

（注）応募者数は約400名。うち、96名が入学試験を通過し、29名がプログラムに参加。参加者は毎月ピッチを行う必要があり、中には脱落するものもいた。最終的には5つの案件が残った（1つの案件は、2名の創業者のため、卒業生の人数は6名）。

□ 参加者

スタートアップのアイデアを持っている参加者、アーリーステージの会社が応募することができ、入学試験を受ける。試験に受かった者は、300ドルの受講料(3ヶ月のプログラム)を支払う。

□ 賞品

2つのスタートアップがそれぞれ15,000ドルの投資をFenoxから得ることに成功した。卒業するためには、起業家は会社を所有し、必要な課題をすべて終了し、ビジネスモデルと財務モデルを立て、メンターから認証されている必要がある。また、リーダーシップのスキルを獲得し、強力なネットワークを構築し、投資家候補にピッチを行う準備ができている必要がある。



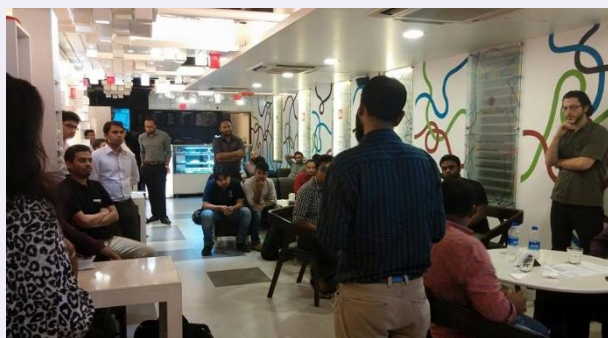
(写真左) Founder Institute の創設者兼CEOによるセッション



(写真右) スターメンターとの進捗状況(ビジネス開発、財務モデル、スケールアップ)に関するフィードバックを得るためのセッションの様子



毎週のカリキュラムの様子



毎月のピッチの様子

□ 勝者情報

初回バッチで投資を得ることに成功した上位2社: Handy MaMa(3頁参照)、Smart Kompare

企業名	分野	概要
SmartKompare	金融	<ul style="list-style-type: none">ユーザが銀行ローン、クレジットカード、住宅ローンなどの金融商品を無料で比較できるオンラインサービス。現在のサービスは、比較、照会、申請の他、教育コンテンツがある。比較サービスは、バングラデシュの最新の金融・保険商品情報を提供。照会・申請サービスは、物理的に銀行に行かなくても希望する金融商品に接続できるサービスである。教育コンテンツは、銀行情報に関するものである。

Get in the ring Bangladesh 2015

初のオランダベースのビジネス・コンペティション

- 期 間：2016年1月(初回)
- 主 催：Get in the Ring Foundation,
Daffodil International University(現地側主催者)
- パートナー：The Daily Star、放送パートナー：RTV
- 場 所：Daffodil International University(ダッカ)



主催者のプロフィール

Daffodil International University



Daffodil Groupは、バングラデシュのICTコングロメイトであり、教育提供機関の1つである。1990年に創設され、現在はICTおよび教育分野で28以上の企業を擁し、国内外で活動している。Daffodil International Universityは2002年に設立された。設立の目的の1つは、若者が起業家になるようエンパワーすることである。ビジネスインキュベーションの学部があり、バングラデシュで起業家精神の学位を授与する唯一の大学である。他学部の学生も出席できる起業家クラスのオープンスクールもある。学生は大学時代にビジネスアイデアを試験的に試すことを奨励されており、これまでに700人を超える学生が卒業後、起業家になっている。

コンペティションの概要

□ コンペティションの歴史

Get in the Ring Foundationはオランダに拠点を置く非営利団体であり、世界中でビジネス・コンペティションを主催している。2012年に12カ国で開始し、そのコンセプトは急速に広がり、2016年までに80カ国以上で主催し、5,000を超えるスタートアップがコンペティションに参加している。

バングラデシュでは、2016年1月にDaffodil International Universityがダッカで第一回目を開催した。様々な地区から100を超えるスタートアップが応募し、8のファイナリストが、聴衆と審査員の前でビジネスのピッチを行った。リングの中で、2つのスタートアップが1対1でピッチを競い合う形式であり、5ラウンドの後の質疑応答後、審査員と聴衆が勝者を選ぶ投票を行う。スタートアップは自己紹介に続き、①チーム、②成果、③ビジネスモデル・市場性、④財務、⑤プロポーザルの5ラウンドをフリースタイルでそれぞれ30秒ずつ競う。審査員は、様々な政府機関と民間の団体から構成されている。Daffodil International Universityは、スタートアップの概念を国内に普及するために毎年このイベントを開催する予定である。今回は、4つの地区でコンペティションを実施し、各地域のファイナリストを決定した後に、ダッカで全国ファイナルコンペティションを開催する予定である。

□ 参加者

参加者の要件は、ユニークな特性を持ち、成長途上にあるビジネスを所有するスタートアップ、またはスタートアップのアイデアの所有者である。スタートアップは設立8年未満でなければならない。大半がUniversity of Dhaka, IBA-DU, North South University, Daffodil International University, Independent University, BRAC University, BUET, Stamford および AIUB などの出身の学生である。

□ 賞品

バングラデシュ大会の優勝者は、東アジア地域のファイナルコンペティションに参加することができる(2016年は、2月にサウジアラビアで開催)。各地域のファイナルコンペティションの優勝者は、オランダで開催される国際ファイナルコンペティションに参加することができる(2016年は3月に開催)。

□ 選抜の基準

スタートアップのピッチに基づいて、審査員は①チーム、②成果、③ビジネスモデル・市場性、④財務、⑤プロポーザルの各項目毎にスコアを付ける。



リング内で1対1のピッチ合戦を行い、観客と審査員の前で質問に答えるピッチ・コンテストの様子

□ 勝者情報

企業名	分野	概要
Food For People (FFP)	食品	<ul style="list-style-type: none"> • 飢餓のないバングラデシュを目指すソーシャルビジネスモバイルアプリ • 余分な食料がある人々は、モバイルアプリを通じてFFPに知らせる。FFPはロジスティクスを備えた要員を送り、食料を回収し、空腹な人々に配布する。 • 現在、ホテルやコンベンションホールを中心に食料を回収しているほか、高所得者から食料の寄付金を集めている。また、家具事業を開始し、ビジネスの持続可能性の確保を目指している。 • FFPは2015年12月に設立され、現在4名の従業員、50名のボランティアスタッフを抱えている。将来の計画は、貧しい人々に食べ物を供給するだけでなく、彼らが自分でお金を稼げるように支援することである。今後はそのような人々の働く能力を育成するための訓練プログラムを実施する予定である。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。JETROでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETRO及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

Copyright © 2017 JETRO. All rights reserved.